

野球同好会の活動報告・第60回パテント杯

野球同好会
潮 太朗

パテント杯とは

野球同好会は、毎年夏、パテント杯争奪野球大会（パテント杯）に参加しています。

パテント杯は、特許庁の主催により江戸川河川敷で開催される大会であり、特許庁、特許事務所、知財関連団体などのチームによりトーナメント形式で優勝が争われます。今回は、7月に行われましたパテント杯の弃クチームの試合結果を報告させていただきます。

今年の結果

1回戦

7月22日の初戦の参加者は、澤田 孝之 先生、長谷川 博道 先生、小田原 敬一 先生、伊藤 和真 先生、小越 一輝 先生、澤田さん（澤田先生のご子息）、前田 研 さん、加藤 聖章 さん、荒井 崇正 さん、潮の計10名でした。

結果は、あいにくと以下の通り、大敗となってしまいました。

	1	2	3	4	計
エレクトロス	4	13	2	4	23
弃理士クラブ	0	0	0	0	0

大きな外野フライをおしくも取りきれないなど、エラーも続いた2回を相手方のビッグイニングとしてしまいました。打者二巡ほどで13点もとられましたので、投球数が大幅に増えてしまった先発の澤田先生、長谷川先生も交代となり、苦しい展開でした。その後も、あいにく得点を許す一方、我々は相手チームの堅守に阻まれて得点できず、大差で敗れました。

当日のグラウンドには、元監督の阪本 清孝 先生にも応援にお越し頂き、打ち上げにもご参加頂きました。試合中、人数に余裕がないので相手方のファウルや大飛球をとりにいって頂くことがあり恐縮でした！どうもありがとうございました。今後、阪本先生を始め他のベテランの先輩方におかれましては、ぜひ、ユニフォーム姿でのご参加をお願いします。

敗者復活戦

トーナメント形式のパテント杯ですが、初戦に負けたチームは翌週の敗者復活戦に参加できます。

そこで7月29日の敗者復活戦に参加したのですが、弁クチームの参加者は、長谷川 博道先生、小田原 敬一先生、伊藤 和真先生、権正 英樹先生、田中 宏明先生、小迫 武志さん、前田 研さん、荒井 崇正さん、潮の計9名と、足の怪我のための応援参加の加藤 聖章さんでした。

結果は、まれにみる接戦でいい試合となりました。

ピッチャーを始めいくつかのポジションで助っ人の方にもご活躍頂くメンバー構成で臨んだところ、2回表に連打の後の長打がでて、その裏までに2点リードとなりました。その後、3回裏に足を絡めた攻撃で逆転されて3点ビハインドとなったものの再度、4回表に逆転に成功です。

こうして迎えた4回裏、時間制限のために最終回になることは分かっており、わずか1点のリードでは厳しいかなあと思いつつ、息を飲みながらライトの守備につきました。

ところで相手チームは、よくまとまっていて皆さんうまいのですが、ベテランの方ばかりであまりお若くはないせいか、他の強豪チームほどの長打力はありませんでした。そのためもあってか、相手方の超ビッグイニングを防ぐことができたかもしれず、私の守るライトには最初から最後まで打球が一度も飛んできませんでした。

話を最終回に戻しますが、そんな相手チームからヒットは打たれるも単打で、こちらのダブルプレーもでる！といった手に汗握る展開の最後には、何と何とツーアウト満塁でツーストライクという、あと一人ならぬあと一球コールがこだまするような状況になりました！ところが土壇場で、レフトオーバーのサヨナラ打を浴び、無念の敗退となりました。

ここまでのいい試合はちょっと経験した覚えがなく、久々にみんなでドキドキする楽しみを味わうことができました。

	1	2	3	4	計
弁理士クラブ	1	4	0	4	9
IPCCダンディーズ	2	1	5	2x	10

こうして弁クにとっての2023年のパテント杯は終了となりましたが、体調を崩される方も怪我もなく、よかったですと思います。ご参加頂きました皆さま、改めましてどうもありがとうございました。

お願い

野球同好会のメンバーはあまり多くないため、最近、ちょっと無理気味に予定をやりくりしてもらったり、助っ人をよんだりして何とか試合に参加しています。ただ、参加者はいつも楽しく汗を流しています。そんな機会を共有すべく、野球同好会ではいつでも新たなメンバーを募集しています。グラウンドに足を運んで頂けるだけでも大変助かりますから、過去に野球をされていた方に限らず、草野球しか経験していない方、運動不足を解消したい方、応援だけして頂ける方、ご遠慮なく弁ク事務局までぜひ、ご一報下さい。

来年の皆さんのご参加、心からお待ちしています。

最後に、試合の写真を紹介します。写真にはありませんが、試合後にシャワーを浴びてから仲間とともに打ち上げで飲むビールは格別です！

